



徳島県看護連盟だより

第32号

令和3年3月17日

徳島県看護連盟

〒770-0801

徳島市上助任町三本松375-5

青藍コーポ301号室

TEL 088-634-3297

FAX 088-634-3298

編集責任者 小島 泰代

印刷 徳島県教育印刷株



No. 8 菌床シイタケ生産量



徳島県では平成元年頃から菌床シイタケ栽培に取り組み、その生産量は現在、日本一です。おがくずチップに栄養剤等を入れた20cm四方ほどのブロック（菌床）にシイタケ菌を種菌、温度・湿度管理や清潔管理された部屋で育てられ、食べ頃の大きさになると一つ一つ丁寧に採取、パック詰めされて店頭並び、一年中出荷可能です。徳島産シイタケは肉厚で香りが高いのが特徴、シイタケ特有の「エリタデニン」は悪玉コレステロールを下げ、血流をスムーズにして高血圧や動脈硬化予防、食物繊維も豊富、低カロリーで、便秘解消、肥満予防、ビタミンB群も多く美肌効果、βグルカンで免疫力UP、すごいでしょ！

(写真は榊刈椎茸組合 大栗代表理事のご協力撮影)

目次

・挨拶	2
・要望書提出	2
・全国会議・ブロック会議報告	3
・令和2年度中四国ブロック看護政策セミナー報告	4
・令和2年度青年部・OB部報告	6
・研修会報告	8
・支部リレートーク	10
・支部報告	11
・私の自慢	13
・お知らせ	14

令和2年度

秋の叙勲

連盟会員 水口 靖美 様

瑞宝単光章 受章

おめでとうございます！

ご挨拶



徳島県看護連盟
会長
小島 泰代

昨年から全世界に広がった新型コロナウイルス感染症ですが、今なお、感染拡大がおさまる気配すら見えない状況が続いております。

そのような中、医療の最前線で、まさに命がけの看護実践や感染防止に奔走する看護職、また、家庭や学校、職場や地域の集まり等、社会のあらゆる場面で会員の皆様をはじめ、多くの看護職の方々が、人々の暮らしを支えるためにコロナ感染予防対策や不安や悩みの軽減等にその専門性を発揮しておられることは誠に心強く、心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。

コロナ禍における様々な制約の中、医療現場は勿論、人々の行動や生活様式も大きく変化しております。ワクチン接種が始まりましたが、効果を期待するにはまだまだ時間がかかりそうです。

看護連盟では、活動の中心となる施設訪問や研修会開催は現場への負担になるとの考えで実施を控え、まずは現場の声を聴き、それを反映した要望を議員に届けました。その結果、危険手当や慰労金の支給、施設設備整備や感染防止対策費支給、保健所職員増員等、訪問看護ステーションや助産所等のワクチン接種順位の配慮等、少しずつ成果が見られております。

各支部でも会議や研修はほとんど中止して、電話やメール、書面で情報を伝達する程度でしたが、オンラインという新しく便利なツールの使用に慣れ始めた後半から少しずつ活動を再開し始めたところです。

当会は、2020年に創立60周年の還暦を迎えましたが、ここ数年、連盟会員の減少が続いております。今一度看護協会が看護連盟をつくった原点に立ち返り、連盟の存在意義を会員の皆様と共有しながら心新たに前に進みたいと思っております。「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」看護の未来を変えるのは看護職です。

要望書提出

看護連盟の活動で大きなウエイトを占めるのが、現場の声を政策の場に届けることです。

看護協会が提言する看護政策を実現するために、徳島県看護連盟では、日本看護連盟や徳島県看護協会と連携しながら活動しております。徳島県看護協会は、県知事に要望書を提出しています。徳島県看護連盟は、徳島県選出の国会議員と自由民主党徳島県支部連合会に要望書を提出し、意見交換会で状況を説明しました。その結果、防護具の支給や危険手当、慰労金の支給等、少しずつですが、現場に還元できていると思います。

2020年9月28日に提出した主な要望事項は下記の内容です。

1. 看護職の人材育成・確保・定着への支援
2. 医療・介護等、現場における医療資機材や感染防護具等の安定的確保への支援
3. オンラインでの非接触ケアや研修・会議を目的としたICT導入への財政支援
4. 感染予防教育の徹底に向けて感染管理認定看護師養成のための受講補助や県内での養成施設設立への支援
5. 保健所に勤務する職員確保とコロナ関連業務を担う職員への慰労金の支給

また以下の内容は、各支部から送られた声や施設や会員から直接いただいた声を、その都度、議員にお話ししたり、国や県への要望として自由民主党徳島県支部連合会へ書面でご報告した内容です。

- ・危険手当や慰労金は、病院やクリニックだけでなく介護施設や訪問看護ステーション等も同様に対応する

- ・感染のハイリスク看護職の保護と代替職員を雇用した場合の所要経費（賃金等）に対する補助金の支給
- ・訪問看護ステーション等で電話や情報通信機器を用いた療養指導や病状確認等を行った場合の診療報酬算定
- ・看護職の子どもを安心して預けられる場所の確保
- ・早急な物資の確保と安定供給には助産所や訪問看護ステーション、介護施設も含める
- ・コロナ関連の医療従事者のPCR検査を公費負担。コロナ感染疑いのある人のみならず手術や分娩その他医師が必要と認めた人へのPCR検査の早期実施と保険適用
- ・学生に対する遠隔授業の整備費用、シミュレーション教育を行うための学習環境整備への補助や、親の収入減やアルバイト先の休業・廃業などで学費が払えない、生活費が足りない等の学生に対する支援と助成
- ・コロナウイルスワクチン接種について、妊婦や新生児を訪問する開業助産師を始め地域助産師への接種順位の配慮等も要望しました。

看護連盟では、現在も現場の声を収集して、議員に情報を伝え、要望を続けております。
いつでも、現場の声をお寄せください。

全国会議&ブロック会議報告

日本看護連盟が行う都道府県会長会やブロック会議のほとんどが、3密を避けてソーシャルディスタンスが取れるよう広い会場を借り、時間を短縮して集合&オンラインの併用で開催されました。現在は、日本看護連盟やブロック別の会議もすべてオンラインでの開催となっており、機械に弱く慣れない中で対応しています。

1. **2020年度日本看護連盟通常総会**は、代議員2名役員3名が事務所にてZoomで参加しました。（詳細後記）
2. **都道府県会長会**は、臨時の1回のみ上京、その他はZoomでのオンライン参加としました。各事業以外にも日本看護連盟の組織運営の問題や日本看護協会との連携、次期参議院選挙等について協議しました。できるだけ多くの意見を聞くため意見交換会も開催され、課題解決に向けて協議を重ねておりますが、意見の隔たりが大きく、なかなか前に進まない状況が続いています。連盟として規約規程に則って対応すべく参議院選挙に向けて候補予定者推薦委員会規定の見直しが進み、中央役員会で決議されました。その説明会や看護協会との合同会議もZoomで開催されました。遅ればせながら候補予定者推薦に向けて進み始めております。創立60周年を機に原点回帰して連盟の存在意義を再考し、連盟活動を進める必要性を痛感しています。
3. **中国四国ブロック協議会**について2020年度は徳島県が協議会会長となっているため、各種ブロック会議の開催やとりまとめを実施しております。各事業についてもコロナ禍のため、計画の変更を余儀なくされながらの実施となりましたが、関係の方々のご協力により何とか無事終えようとしています。
 - ・**ブロック協議会会長会**は、第1回はメール会議、第2回は岡山での集合会議、その他4回はすべてオンラインで開催しました。各事業実施にあたっての協議、次年度の担当、本部委員会委員の選出等が中心でした。
 - ・**ブロック別戦略会議**（9月25日）は、今年度初めて開催し、9県の会長・副会長・幹事長がオンラインで参加、「会員確保への取り組みと看護協会との連携状況」の2点を中心に情報交換、意見交換を行いました。
 - ・**ブロック別看護協会看護連盟会長合同会議**（1月15日）は日本看護連盟会長・幹事長・常任幹事、日本看護協会専務理事、ブロック内9県の協議会、連盟会長がオンラインで参加して「連盟の会員確保に向けた協会・連盟の連携」について意見交換を行いました。
 - ・**ブロック別看護管理者教育者看護政策セミナー**には、県看護協会稲井芳枝会長が協会事務所で、連盟からは会長・副会長2名・幹事長が連盟事務所でオンライン参加しました。（詳細後記）
 - ・**青年部全国代表者会議**には、連盟事務所にて中浦眞美青年部長がメイン参加、Zoomでの参加なので、青年部委員も同席しました。
 - ・**中四国ブロック青年部会議（第1回・第2回）**には、中浦部長以下、四宮、近藤、品川委員がメイン参加、会長はオブザーバー参加、青年部担当の祖父江定子氏も同席しました。（詳細後記）



徳島県看護連盟
第一副会長
吉岡批呂子

例年6月に開催される日本看護連盟通常総会は、コロナ禍で延期になり2020年11月30日リモート又は会場（東京プリンスホテル）の選択参加で開催され、徳島県看護連盟は、役員・代議員計5名（小島、祖父江、木内、平野、吉岡）が連盟事務所でリモート参加しました。

例年は1500～2000名規模で開催されていた通常総会は、今回、会場50名・リモート300名・委任状233名と少人数の参加者、議事報告だけという形で開会しました。

来賓祝辞は、唯一出席された日本看護協会の福井会長から頂き、自由民主党 菅 義偉総裁をはじめ、田村憲久厚生労働大臣、萩生田光一文部科学大臣、阿部俊子衆議院議員、高階恵美子参議院議員、石田昌宏参議院議員、木村弥生衆議院議員からはビデオメッセージをいただきました。

日本看護連盟 大島会長の挨拶では、連盟活動のスローガンを「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」と新しく変更したこと、2020年は“見える活動・動く連盟・確かな組織”を重点方針に掲げ、政治力、政策実現力の強化に取り組み、ブロック別戦略会議を立ち上げて情報の共有化・会員増を図り組織力を強化していくこと等、力強く述べられました。

また、2020年は「看護の日」が制定されて30年、ナイチンゲール生誕200年、そして看護連盟は創立60年の還暦を迎えると話されたことに、改めて2020年が記念すべき年であることを認識するとともに看護組織の歴史に貢献された先輩たちの活動に感謝し、今ある看護組織力を低下させてはならないと思いました。

大島会長の話の中で特に印象に残ったことは、「協会と連盟は密に連携を重ね、役割分担しながら協会は政府に、連盟は政権与党に働きかける」という部分です。「協会と連盟が密な連携を重ねて役割分担」は、連携しながら役割分担することは当たり前のことであり、何度も聞いている言葉なので意識することなくスルーしていたかもしれません。しかし、「役割分担しながら協会は政府に、連盟は政権与党に働きかける」と聞いた瞬間、なんて具体的でわかりやすい言葉だろうと思いました。

今までも大島会長は、このような表現をされていたのかもしれませんが、私はこの日、衝撃とともに受け止めました。今後、この言葉は協会・連盟会員が連盟活動をする際の行動目標となり、連盟に対する理解が更に広まるメッセージになればと期待しています。

リモートでの参加は、音声聞き取りにくく会場の雰囲気や参加者の表情が部分的にしか見えないため、会場との一体感がなく総会に参加している実感はもてなかったものの無事、令和2年度の通常総会が終了しました。

中四国ブロック管理者教育者看護政策セミナー

開催日時：2020年10月31日（土）リモート会議

参加者：ブロック内65名

徳島県参加者（県看護連盟事務所）小島 吉岡 川西 藤本

（県看護協会）稲井看護協会会長

目的：看護職育成の核となる看護管理者・教育者の政治への関心と看護連盟への理解を深め、自立した会員育成と組織強化につなげる



2020年度 中国・四国ブロック看護管理者・ 看護教育者看護政策セミナーに参加して

幹事長 藤本 由紀子

本セミナーは例年では2日間、現地開催でしたが、今年は新型コロナウイルス感染予防対策で1日となり、交流会やグループワークをせず、リモート会議となりました。当日は大島会長の明快な講演から始まりました。看護連盟が動いたこと、看護職議員が動いたこと等の政策現場をリアルに実感させていただきました。看護連盟と看護協会の連携の良さについても話されました。日本看護協会専務理事 勝又氏の講演でも選挙活動の意義、看護連盟の必要性を話されました。塩崎議員は今後の日本における保健医療について海外事例を挙げて講演されました。いかに少子高齢化やデジタル化が進もうと患者にとっていい医療を考えて行動する基本を忘れない。また、地元の議員を味方につけて世論を形成するという話は納得しました。最後の島崎氏は新型コロナの医療政策への影響についての講演でした。少子高齢化、IT化やデジタル化が進む中で新型コロナの感染が拡大して、看護師の生活にまで大きく影響しています。今回のセミナー参加で、連盟役員は何が出来るのか。どうすれば未来が変わるのかを考える機会を与えていただきありがとうございました。他県の方々との意見交換の場がなかったのは残念ですが、有意義な参加となるように活動したいと思います。

2020年度 中国・四国ブロック看護管理者・看護教育者看護政策セミナープログラム

9:30	開会挨拶 ブロック協議会会長
9:35	挨拶 日本看護連盟 会長 大島敏子
9:40	講演1 テーマ「日本看護連盟における看護政策の取り組み 新型コロナウイルス対策を含めて」 講師 日本看護連盟 会長 大島敏子
10:25	講演2 テーマ「日本看護協会の重点政策について」 講師 日本看護協会 専務理事 勝又浜子氏
11:35	講演3 テーマ「少子高齢・デジタル時代の保健医療」 講師 元厚生労働大臣衆議院議員 塩崎恭久氏
13:40	講演4 テーマ「医療政策の課題と展望 ～新型コロナの影響も踏まえて～」 講師 国際医療福祉大学大学院 教授 島崎謙治氏
15:10	閉会 挨拶

ちよこつとクイズだよ〜!
わかるかな?

これ何の花?



①



②

- ①今は時期でないので咲いていないよ。ハウス栽培の葉っぱがお店にでてるかな？ハーブの一種で主に葉を使い、さわやかないい香りがするよ。
- ②まだ小さいけど太い茎に隠れて実が見えてるね。本来は暖かい地方で育てるよ。

(答えは最後のページ)

青年部報告

青年部全国代表者会議

青年部 部長 中 浦 眞 美



令和2年10月17日に青年部全国代表者会議が行われ、初めてオンラインでのリモート会議となりました。

青年部活動に尽力して下さっている参議院議員石田昌宏先生より講演がありました。石田先生はコロナ禍で補正予算(慰労金)の確保、看護職員・代替職員の確保、防護具の確保強化等多くの活動に取り組まれており、看護職議員の存在の偉大さも改めて感じ、更に私達看護職の現場の声を国会へ届ける責務の重さを実感しました。診療報酬に支配されず、自分たちでもっと看護について考えて行動していかなければならないと厳しい言葉もあり、強く胸に響きました。質疑応答も内容の濃いものでした。

その中で、他県の青年部の現状や課題も聞く事ができ、改めて全国各地で同世代の人達が頑張っていて、厳しい状況の中でもできることを考え模索しながら青年部活動を行っている現状を知って、私達のこれからの活動にも前向きな影響となりました。コロナ禍だからと下を向かず、コロナ禍だからどうするか、しっかりと自分達で考えて行動していく姿勢を持って青年部活動を行っていきたいと思います。

中四国ブロック青年部会議

青年部 副部長 四 宮 基 光

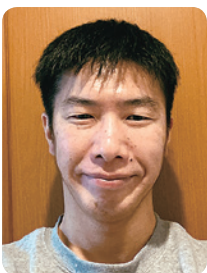


今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、通例であった各県から直接集合し対面で行っていた方法での会議は中止せざるを得ない状況となりました。しかし、リモートであっても顔の見える関係性を繋ぎ、連携を図るための機会とするため オンライン (Zoom) 会議として、2回に渡って開催されました。第1回目(9月23日)は、地域の情報収集として、ブロック内での新型コロナウイルスの影響、現場における活動状況などを共有しました。第2回目(11月25日)は、全国青年部代表者会議を終えての開催となり、さらに地域性を踏まえた会議となりました。各県でのコロナ対策の報告、青年部活動の現状や工夫、自県の取り組みなど、Zoom内ブレイクアウトルームで活発に意見交換を行いました。たくさんの情報共有は、今後の課題や対策を見いだす契機となり、青年部の連携、支援体制の強化につながるものだと感じました。

徳島県看護連盟青年部においても、コロナ禍で課題が山積する中、自分たちにできることを常に模索し、目標や行動についての共通認識をしっかりと持ったうえで、新規会員獲得に向けたネットワークを構築していきたいと思います。

第11回ポリナビワークショップ in 徳島

徳島赤十字ひのみね総合療育センター 近 藤 淳 司



私は看護連盟青年部に所属して2年目になります。連盟に入ったきっかけは、上司や同僚からの誘いからでした。選挙の時に頼まれることがあったので連盟に対する最初の印象は、政治・政策活動だけをしている組織だと思っていました。しかし実際に青年部で活動すると、私が思っていた以上に看護連盟は看護師として仕事をすることで、なくてはならない組織だと実感しています。ポリナビワークショップは、青年部が主体となり企画・運営を行うイベントです。

今年度はCOVID-19の影響もあり、少人数での開催となりました。青年部による活動報告では、連盟の歴史と活動がまとめられていて、連盟が自分たちの身近な存在であることを認識しました。後半はZoomアプリを使つての学習会。オンライン研修など、今はリモートを使うことが日常的になりつつあります。こういった機会に楽しく学ぶことができたのがよかったです。これからも青年部として皆さんのお役に立てるよう励んでいきます。



以前より看護連盟会員に入会していましたが、連盟の活動に対しての知識が不十分で、これまで研修会等に参加したことがありませんでした。青年部の活動参加を機会に今回初めてポリナビワークショップに参加させていただきました。今回のポリナビワークショップは前年度までとは違い、コロナ禍という制約の中、感染症対策のため人数制限やソーシャルディスタンスを取っての開催となりました。

最近自由に研修会を行うことが難しく、Zoomでのリモート会議が多用され、看護の分野においても必要なツールとなっています。今回のテーマは私自身興味がある内容で、初歩的なことから丁寧に指導して頂き、楽しくZoomの機能を知ることができました。今後は仕事やプライベートでもZoomを使用してみたいと思います。今回は他施設の会員との交流に制限はありましたが、一体感のある楽しいポリナビワークショップとなり、良い経験ができたと思います。



Zoomでの青年部ブロック会議



ポリナビワークショップ in 徳島

OB部報告

支部長 吉岡 批呂子

2020年9月に正式発足しましたOB支部役員は、支部長（吉岡）・副支部長（渡川明子）・幹事長（平野文子）の3名です。どうぞよろしくお願いいたします。

OB支部会員は現在50名です。2020年度は11月7日「家庭でできるコロナ対策」をテーマに徳島県看護協会長の稲井芳枝様を講師にお迎えしてOB研修会を開催しました。

コロナ禍で、感染予防策を講じて行いましたが、26名の参加者からは講演内容は勿論、手洗いの実技が楽しかったと嬉しい評価をいただきました。

OB支部会員は、地区支部に所属する連盟会員だけでなく、協会・連盟に入会歴があり、現在はどちらにも入会されていない方を対象に会員を募集しています（会費 8,000 円）。

コロナ禍の現在は、何かとリスクや制約がありますが、コロナ収束後には楽しい集まりを企画したいと考えています。

一人でも多くの方に入会していただき、いろんな活動やイベントと一緒に考え、運営することが希望です。ご連絡は連盟事務局へ、お待ちしております。

OB 研修

令和2年11月7日(土) 場所：徳島県看護会館 参加者：26名

講演：テーマ「家庭でできるコロナ対策」

講師：公益社団法人徳島県看護協会 会長 稲井芳枝先生

OB 研修に参加して

祖父江 定子



令和2年度徳島県看護連盟OB研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染症に対する不安を軽減し、ストレスの緩和に向けて、WITH コロナ時代の「新しい生活様式」で私たちができる事について講演がありました。

まず、今年に入ってからの生活について、近況を話し合い、久しぶりの再会に話題も多く、それぞれが楽しい時間を共有することができました。

次に、新型コロナウイルスについて、徳島県の現状、WITH コロナ時代に応え得る人材育成・確保・定着、感染対策などの説明がありました。新型コロナウイルスの感染予防策は、①「持ち込まない」「拡げない」「うつさない」を守る ②基本である手洗い、咳エチケット、マスクをする ③三密を避ける ④一人ひとりが「知っている」から「できている」感染予防策をすることが大切であると再認識するとともに実感しました。

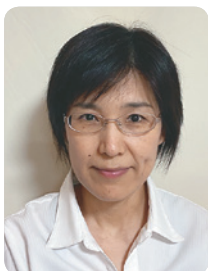
最後に、参加者で実際に手洗いチェッカーを使用し、普段通りに手洗いをしました。汚れが落ちていない部分もあり、驚きの声も上がり気付きをもつことができ、よい機会となりました。



研修会報告

リーダー研修

徳島赤十字病院 川西 誠子



9月12日に予定していた第1回リーダー研修会は、新型コロナウイルス感染拡大の状況より集合研修を中止せざるを得ず、研修資料を、支部長、施設幹事、リーダー(病棟連絡員)に配布し、それぞれが自己学習、また、病棟連絡員が各部署で勉強会を開催するなどの研修形式となりました。研修内容は「リーダーシップについて」渡川明子監事が、「連盟役員の具体的役割と活動」について小島泰代会長が資料を作成され、配布しました。各自の研修後の報告から、コロナ禍だからこそ連盟の果たす役割の重要性を感じている会員もあり、「今ある現場への支援に連盟が関わっていることを広めていきたい」との意欲も聞かれました。また、「効果的なリーダーシップを発揮するためにはコミュニケーションが重要である。現場では感染対策などでの疲弊もあり、上司の言葉や関わり方に敏感に反応し、間違った捉え方もしやすい。この研修での知識を活用し、同僚、部下と関わっていききたい」、「初心に返って自分の日々の行動を見つめ直す機会となった」等の声が聞かれ、今の状況に必要な研修であったと思われました。

管理者教育者（含リーダー）研修

日 時：2021年2月20日（土）

テーマ：「これからの時代に即した看護政策の実現に向けて看護連盟の為すべきこと」

講 師：日本看護連盟会長 大島敏子氏

参加者：33名



徳島県看護連盟 渡川明子

新型コロナウイルス感染対策のため参加者の人数制限等を行った上、オンラインで開催されました。最初に日本看護連盟の誕生について、昭和34年の社会情勢や流行歌などが紹介されました。多くの看護問題は陳情や嘆願の繰り返しでは解決につながらず、日本看護協会が「看護政治連盟設立準備委員会」を発足させ、日本看護連盟誕生に至ったことを説明されました。また看護協会と看護連盟の存在意義に触れ、職能団体とは如何なるものか、さらに看護連盟は看護者の倫理綱領に基づき政治活動・選挙活動を行っている組織であると説明されました。政策実現のプロセスや看護制度に関連する法律なども説明され、看護協会は内閣に、看護連盟は与党に働きかけることが理解できました。また、当初ワクチンの優先接種に含まれていなかった訪問看護師や開業助産師、看護学生も連盟の働きかけで可能になったことを知ることができました。

看護連盟の為すべきことは、日本看護協会の政策実現のため、看護職議員を国会・県議会に送り出すことです。そのために大島会長が繰り返し強調されたのは、看護協会と看護連盟の連携でした。「看護界に大きな福をもたらすダブルとしこ」をキャッチフレーズに、行政庁を奔走されている姿が浮かび、感謝の気持ちで胸が熱くなりました。



看護協会連盟合同研修

日 時：2021年3月7日（日）

テーマ：「徳島県のコロナ問題の現状と対策を中心に看護協会と看護連盟の連携について考える」

講 師：公益社団法人徳島県看護協会会長 稲井芳枝氏

参加者：集合 25名、Zoom 31名

看護連盟会長 小島泰代

年に一度の合同研修会、昨年はコロナ禍で中止しましたが、今年度は、Zoom でのオンライン参加を中心に人数を制限しての開催となりました。新型コロナウイルス感染症について発生から現在までの状況、日本看護協会・徳島県看護協会の対応について、県からの委託を受けて協会がどのように看護職員を確保したか、どこで、どのような働きをしているのか、働いてどうだったか等、特に AWA ナースの活躍が欠かせないことを丁寧にお話しいただき、現役を退いた後でも様々な場所で看護の力が発揮されているこ

とをうれしく思いました。

また、コロナ禍での問題解決にあたって協会と連盟が連携して対応したことに触れていただきました。最後に今後の課題として看護協会が取り組むべきことを示されました。

協会が取り組む看護政策を実現するために看護連盟が存在します。看護協会と看護連盟は、車の両輪・表裏一体であるのが理想と言われますが、徳島県では協会会員の連盟入会率は僅か18%です。これからの看護を取り巻く様々な課題を解決し、よりよい看護の実現に向けて一人でも多くの方が、協会及び連盟に加入して下さることを願っています。



支部のリレートーク

我ら ICT のマスコット「アマビエ様」

阿波病院 看護部長 西村 久美子

誰も想像すらできなかったコロナ一色の年が明けて、悔しいけれどニューノーマルな時代を受け入れざるを得ない状況になってきました。その間には、どの施設も一言では語れない、それぞれのご苦労があったと思います。

阿波病院でも、もう二度と思い出したくないような非日常が、重く重くゆっくりと過ぎ、1週間がとてもし長く感じました。何もはっきりとした情報がわからないまま、次々に送られてくるマトリョーシカみたいになっている県や保健所からのメールの情報だけを、来る日も来る日も開いては読んで、感染対策やシステム、マニュアル作成、環境整備などを、自分たちで頑張るしかありませんでした。

本当に心細かった日々の中、ICT スタッフの娘さんがある日、ICT のマスコットキャラクター「アマビエ様」をデザインしてくれました。明るい話題が何もなかったそのころの私は、不意を突かれ、そのオリジナルのアマビエ様のイラストを、すぎるような気持ちで手にしました。アマビエ様の余白の隅っこには、確かにAWA ICTと印字されています。未知のウイルスに対して、まだ、力のない、まとまってもない初期の感染管理チームでありましたが、AWA ICTと書いてくれたその気持ちに感動し、泣いてはいけなそう思いながら初めて1人部長室で涙を流しました。

それから、マスコットは、外来の3密を避けるために間隔をあけて座る椅子や部屋のあちこちに貼られ、シールになってスタッフの名札や身に付けられ、すっかり阿波病院の感染拡大防止対策の啓蒙の立役者となりました。

アマビエ様は、不安だけで、明るいことがなにもないその時期に、みんなをまとめ士気を高めたと思います。今は、製作者の娘さんにありがたく譲っていただいたキャラクターなので、ここで紹介させていただきます。我らICTを奮い立たせて温かい気持ちにしてくれたアマビエ様。これからも阿波市を守るように力を与えてください。団結！



支 部 報 告

美馬・三好支部

支部長：宮成みどり 令和2年度会員数 55名（前年度より増減7）



はじめに、COVID-19のパンデミックにより自施設で活躍されている会員の皆様方に感謝致しますと共に、ご多忙の折ではありますが、くれぐれもご自愛ください。

令和2年度の支部活動は、感染管理を行いながら対面での役員会を7月25日に実施以降、看護連盟支部長合同役員会議の報告事項や各施設の困り事の聴取はインターネットを活用し、役員の方々へ配信させて頂いています。また、基礎研修は施設ごとに看護連盟ホームページの動画サイトを視聴して頂き活動形式も様変わりしております。

ところで、皆様、看護連盟のホームページを閲覧されていますでしょうか？看護連盟の役割が可視化されており、会員になるメリットを実感される事と思います。是非、皆様もご覧ください。

* M病院に入院した時のエピソードです *

COVID-19感染防止のため面会制限があり近親者ですら容易に会うことが出来ず荷物の受け渡しは看護師が対応してくださっていました。また、定時の時間になると「入院患者の皆様にはご不便をおかけしますが、**貴方の命と大切な人の命を守るためにご協力をお願いします**」と館内放送が流れてきて、その文言に医療者の切なる思いを感じました。

吉野川支部

支部長：木島 美香 令和2年度会員数123名（前年度より増減25）



今年度はコロナのため活動が行えていないのが現状です。各施設が集合して研修を行うことが出来ないため、会員数増員への活動を自部署にて20代看護師に対して行いました。20代看護師は看護連盟への興味は持ってもらえましたが、会員加入までには至っていません。今年度、残り少ないですが、集合研修ではなく、各施設で行える研修を考慮したいと考えています。

徳島支部

支部長：木内 和江 令和2年度会員数210名（前年度より増減0）



現在、新型コロナウイルス感染拡大により支部活動も制限されていますが、看護連盟の重要課題である「会員確保」に向けて、試行錯誤しながら努力しております。

令和2年度の支部目標は①前年度より会員数を増加②施設訪問の対象先を拡大し連盟に関心をもってもらう。①については4月から12月末までに15名の増加があり210名となりました。②については、会員数が在籍しない施設にも拡大し、看護連盟への理解と協力を依頼する予定でしたが、コロナ禍の中で実施できておりません。

まだまだ終息の兆しが見えませんが、訪問時期の検討をしながら、目標を継続していきたいと思っております。

支部会議は4回実施しましたが、3密回避のため1回は書類審議であり、支部長として支部役員への情報提供やサポートも不十分で心苦しく感じています。今後、コロナ禍でも、会員確保のためにできる範囲で具体策をあげ、取り組んでいきたいと考えております。

医療現場で自身の感染や感染の媒体者になる事への不安を抱えながら、また感染予防対策等で多忙な業務の中活動して下さる施設リーダーはじめ、看護職の方に心より感謝申し上げます。

鳴門支部

支部長：三好 節子 令和2年度会員数90名（前年度より増減2）



新型コロナウイルス感染拡大の中、お仕事頑張っておられる皆様お疲れ様です。感謝申し上げます。日頃は、看護連盟活動にご協力いただきありがとうございます。現在鳴門支部は、11施設、会員数90名、支部役員11名で活動しています。今年度は、新型コロナウイルスの影響で支部活動にも制限があり、支部役員会、施設訪問も実施出来ていないのが現状です。県看護連盟役員会後は、書面、電話、メール等で報告をしています。

今年度の支部研修会は、感染対策を取り徳島支部と合同で11月21日に行いました。

講演① 基礎研修「看護連盟について」 中浦 眞美 青年部部長

講演② 一般研修「産業看護師の活動について」 四国大学看護学部 助教 久保 幸子氏

所感：講演①では、青年部活動を頼もしく感じました。

講演②では、産業看護師の仕事内容が理解でき、産業看護師を知る良い機会となりました。

1月に入り、新型コロナウイルス感染が拡大しています。皆様お身体にはお気を付けてください。

小松島支部

支部長：中野 顕作 令和2年度会員数202名（前年度より増減5）



小松島支部研修会を開催しました。

方法：DVD 視聴、資料配布にて各施設で実施 参加人数（会員：15名 非会員：34名）

内容：基礎研修「看護連盟の役割と活動について」

講師：徳島県看護連盟 青年部 近藤 淳司

所感：COVID19の感染拡大の為、今年度の基礎研修は動画資料を作成し、DVD視聴や資料配布により施設単位で開催しました。研修での学びでは、看護連盟の役割や活動の歴史だけでなく、看護連盟や看護職代表の国会議員の活動がコロナ禍における看護問題の解決に向けての制度や支援物資の供給にも繋がっている事が理解できました。今後も、1人でも多くの看護職に看護連盟の必要性を理解して頂き、看護連盟の会員増加に繋げていきたいと思います。

阿波支部

支部長：中山 元己 令和2年度会員数39名（前年度より増減0）



令和2年11月10日（火）、12日（木）、阿波病院大会議室にて支部研修会を開催しました。

講演：「看護連盟について理解する」 講師：支部長 中山 元己

GW：「日常の業務について話し合う」 参加人数：26名

今年度の支部研修会では、非会員の方の参加もあり、基礎研修を兼ねて行い、参加者より「看護連盟の歴史や活動内容を知り、必要性を理解することができた」「学んだことを今後に繋げていくことで、看護の明るい未来が見えてくる」等の意見を聞くことができました。またGWでは、職場の問題点や改善策、連盟会員確保等の内容について活発な話し合いを行う事ができ、今後の連盟活動における手掛かりとなりました。今年度1月に計画していた「リフレッシュ研修・3B体操」については、新型コロナウイルス感染拡大リスクを考慮し中止としました。代替りの研修会として、「Livedo オンラインセミナー」を予定しています。コロナ禍の中、連盟活動が制限される状況ではありますが、看護連盟の組織強化に向け、一人でも多くの会員増に繋がるよう、支部でできることを工夫し、状況を見ながら今後も取り組んでいきたいと思います。

阿南・美波支部

支部長：川下佳代子 令和2年度会員数145名（前年度より増減23）



合併に伴い、阿南・美波支部としての活動がスタートし、2年が過ぎようとしています。合併後に、阿南第一支部より多数の退会者を出し、それを止めることができないまま、新規の会員確保も思うように活動できませんでした。また、コロナウイルス流行やクラスター多発など、院外との交流にも支障が出たように思います。阿南・美波支部は施設支部ではなく、海部病院や保健所、訪問看護ステーションの方も所属していますが、リーダー会を自施設のみで行ったこともあり、今年度は一度も顔を合わせることはできませんでした。さらに、前年度中止となり、今年度ようやく計画していた支部研修に関しても、イベントの講師が院外の方であるとのことで、中止せざるを得ませんでした。基礎研修として青年部に講師を依頼していたので、資料を配布してもらい、自部署にて学習会の開催を依頼しました。研修対象として予定していた若いスタッフを中心に、看護連盟の成り立ちや実績などを無理なく伝えて頂いて、1人でも多くの仲間ができればと思っています。



坂東 啓子

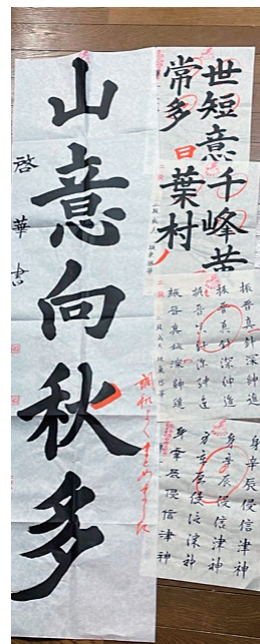
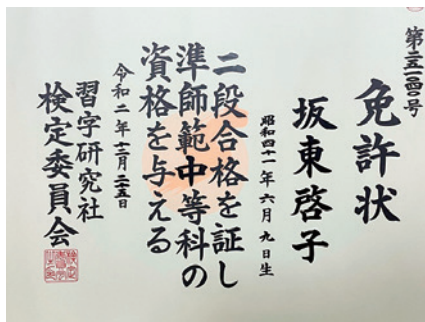
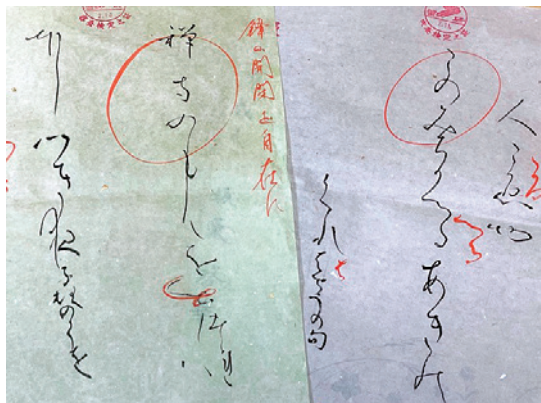


新型コロナウイルス感染症が急拡大している今日、皆さんはどのようにおうちでお過ごしでしょうか。私は3年前、病院ボランティアの元ベテラン看護師さんとの会話がきっかけで、書道を習うようになりました。最初3人で始めた書道教室

でしたが、だんだんと仲間が増え、現在では書道好きの仲間が6人に増えました。

コロナ禍の現在、集団での教室はできなくなりましたが、6人の仲間が切磋琢磨しながら頑張っています。こんな私ですが、昨年12月に、2段に昇格（準師範中等科）しました。昇格につれ条幅（大筆）や中字（小筆）などの提出課題は、だんだんと難しくなりますが、現在では和歌や俳句などの「かな書道」にも挑戦しています。

白い紙を前に精神統一し、筆を走らせていると時間が経つのも忘れてしまう程です。おうち時間を有効に活用すると共に、今後も精進していきたいと思えます。



看護連盟からのお知らせ

連盟会員募集

看護連盟は、現場の課題解決のためにあなたの声を政策の場に届けています。
今回の COVID-19 対策や豪雨災害対策など現場の声を届けて、
危険手当や慰労金の獲得につながっています。
あなたの声を届けることで、現場が変わります。

ぜひ
ご入会ください!

正会員・・・公益社団法人日本看護協会会員である人
年会費 8000 円
(日本看護連盟費 5000 円、徳島県看護連盟費 3000 円)

特別会員・・・正会員の経歴を有し、現在は未就業で看護協会会員でない人
年会費 8000 円
(日本看護連盟費 5000 円、徳島県看護連盟費 3000 円)

賛助会員・・・看護連盟の趣旨に賛同する人 (看護職でなくてもよい)
一口 1000 円 (何口でも可)

学生会員・・・連盟の趣旨に賛同する看護学生 会費無料

お問い合わせ先

徳島県看護連盟事務局

TEL: 088-634-3297

FAX: 088-634-3298

メールアドレス: kan-ren-toku-1@bz04.plala.or.jp

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

◆こんなお悩みはありませんか？

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーを開催し、職場の問題解決のお手伝いをさせていただいております。

* 研修内容及び研修時間をご相談に応じさせていただきます。

良質な睡眠は、健康で充実した
毎日を過ごす基本です！

 **TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社**

香川営業所 ☎ 0120-301507

お気軽にお問い合わせください

〒761-0301 香川県高松市林町 2518-7 www.toyoumo.co.jp

編集後記

令和3年明け、もう3か月が終わろうとしています。令和2年度連盟活動最後の締めとなる今号は、コロナ禍での年度後半の事業報告です。

今年は丑年、牛は大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、「我慢(耐える)」、「これから発展する前触れ(芽が出る)」というような年になるといわれています。

コロナに耐えて、いろんな困難にも耐えて、芽が出るのを待ちましょう。いや待つだけでは芽が出る前に1年が過ぎてしまうかも。しっかりと陽に当て、水も与えましょう。

(広報担当:吉岡・藤本・中山・中浦・祖父江・小島)

ちょこっとクイズの答え

① 青しその花だよ

② 青パイヤの花だよ

(450円で買った苗がとて大きくなって
たくさん実をつけたよ) (by小島)